

群馬県における取組状況について

平成24年7月19日

1 概要

本年5月に利根川水系の複数の浄水場でホルムアルデヒドが検出された事案を受け、上流県として再発防止に向け必要な取り組みについて検討をスタート。

知事の諮問を受け、群馬県環境審議会（水質部会）で具体的な作業を行っており、今後の国の対策を踏まえ、これを補完し、実効を挙げるために必要な県独自の取り組みについて検討中。

2 検討にあたっての論点

- (1) 上流県として早急に実施すべきこと
- (2) 国の検討状況を踏まえ県として独自に行うべきこと

3 実態調査の実施

第1回会議（6月22日）において、再発防止のため、ホルムアルデヒドの前駆物質である可能性が否定できない物質（85物質）を取り扱っている県内事業者の実態調査を至急実施すべきとの意見を受け、水質汚濁防止法の政令市と協力して7月末を目途に立入調査を行っている。調査時には、化学物質の適正管理についての注意喚起を併せて実施している。

4 今後の見通し

国の検討結果と県内の実態調査の結果を踏まえ、8月末を目途に県独自の対策の必要性、必要な場合の具体的内容等について結論を得る予定。